

1 概況

各地区の摘採は、冷蔵網で1～5回目、秋芽網では、4～7回目を実施しています。
植物プランクトンは先週から減少し、少ない状況です。栄養塩は、知多西岸地区南部、知多東岸地区及び西三河地区西部で「少ない」状況で、知多東岸地区では一部を除き網上げが進んでいます。
一方、西三河地区東部は、漁場によりばらつきがありますが、「多い～やや多い」状況で、栄養塩は十分量ありました。水温は約1℃高めに推移しています。あかぐされ病が蔓延している漁場はみられないようですが、ノリ芽が伸び過ぎた網を全力で摘採することにより、病害の拡大を防止し、少しでも長い期間摘採できるように努めてください。

2 気象・海況

<水温> 2月14日

2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	8.4℃
	平年差	+1.0℃

<水温> 2月15日

漁生研 (-1.0m)	10時水温	11.0℃
	平年差	+1.3℃

<潮位偏差> 2月14日

名古屋港	日平均偏差	-8 cm
	5日平均偏差※	-3 cm

※2月10日～14日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北中部: やや少ない、南部: 少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
西三河地区	西部(西尾・味沢): 少ない 東部(一色～衣崎): 多い～やや多い	なし	植物プランクトンは少ない
東三河地区	本年度の調査終了		

※栄養塩基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

<気温動向の予測> (気象庁週間天気予報より 予報期間: 2月15日から2月21日まで)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、平年より高く、期間の後半はかなり高い日が続くでしょう。
-------	---

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病障害 その他
知多西岸地区	冷蔵: 1～5回 一部で秋芽	400～1,200枚	色調は漁場による 一部でB、C系統	一部でカモ	鬼崎の一部では 後期冷蔵網1回摘み
知多東岸地区	秋芽: 5～7回 一部で冷蔵	1,000～1,500枚	色調は 概ね低調	なし	一部を除き3～5割程度 が網上げ
西三河地区	冷蔵: 3～5回	650～1,000枚	色調はまずまず	なし	目立った病障害なし
東三河地区	秋芽: 4～5回	1,000～2,000枚	色調は低下傾向	一部でカモ	目立った病障害なし

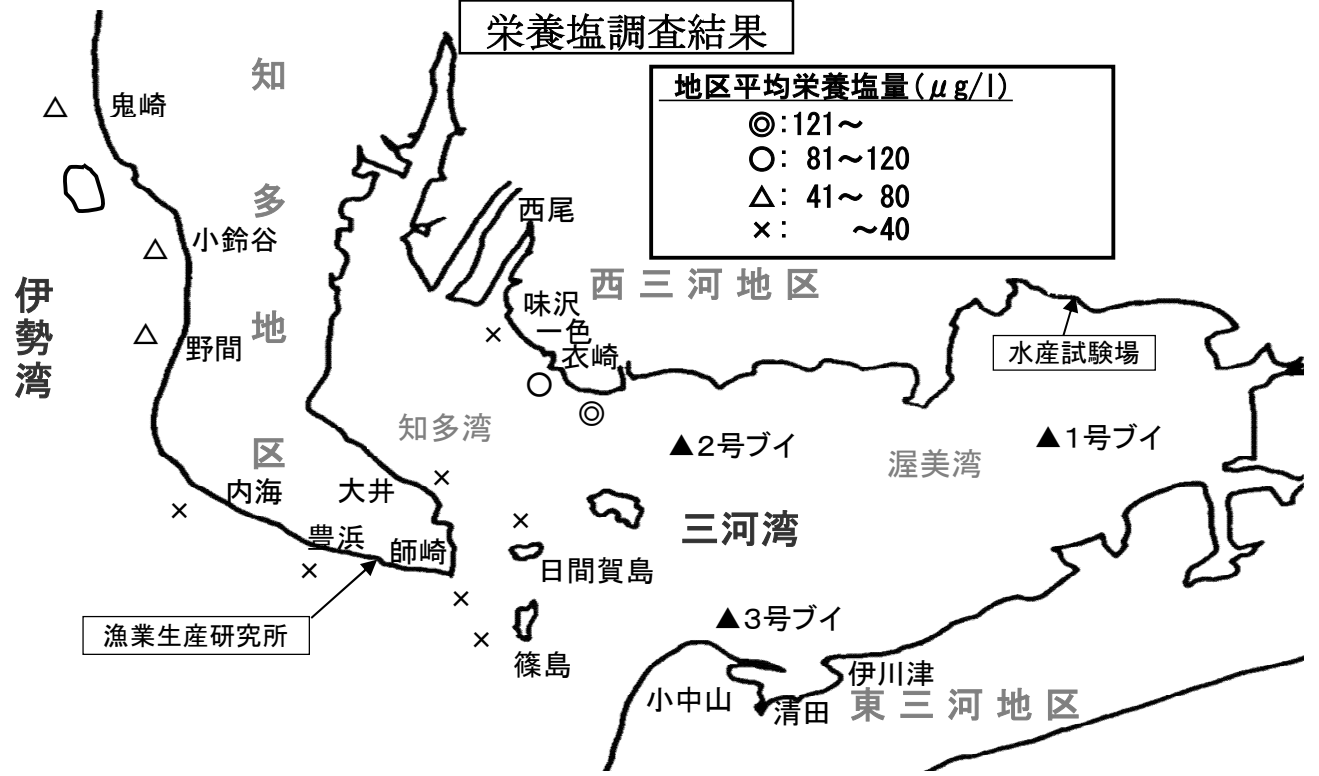
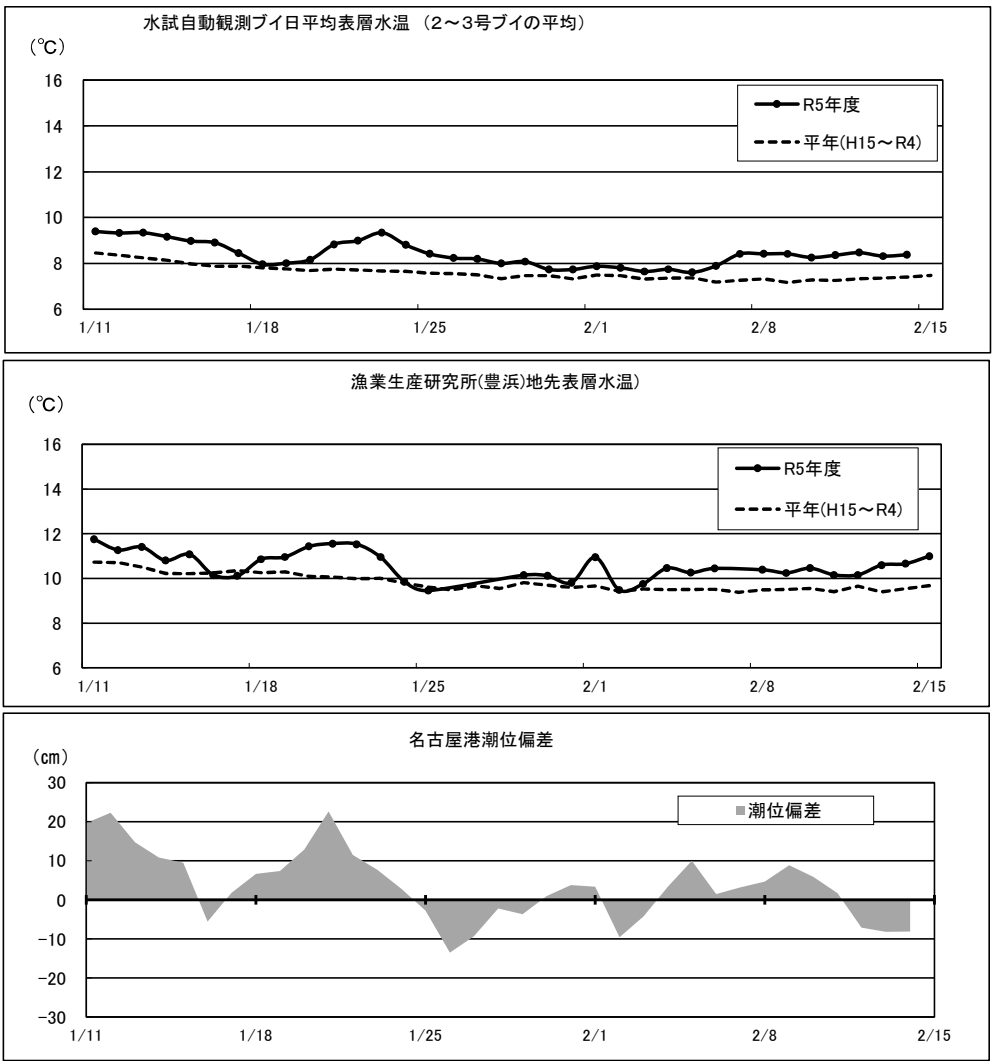
4 今後の管理

- あかぐされ病の拡大防止のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。
水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は2月22日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日：知多、西三河：2月15日（木）、東三河：調査終了
 関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会